

NEWS CLIP & AV MATERIAL

◎ ニュースクリップ&映像教材



■「デジタルテレビ活用授業モデル 総集編」エル・ネットで配信

文部科学省、日本視聴覚教育協会では、平成20年度「デジタルテレビ等を活用した先端的教育・学習に関する調査研究事業」の一環として、デジタルテレビを効果的に活用した4つの授業を映像で収録し、広く学校教育関係者や保護者等に伝えることを目的に、標記モデル映像を作成した。映像はデジタルテレビを活用した4つの授業を紹介しており、近く、エル・ネット (<http://www.elnet.go.jp/>) で配信される。

NEWS CLIP

協会情報

■「2009年教育映像祭優秀映像教材選奨」募集開始

日本視聴覚教育協会主催による標記選奨は「教育に利用される映画、ビデオ、DVD等、映像教材の制作と利用の向上進展を図る」ことを目的に、次の要領で開催される。

〈部門・分野〉 1. 教育映画（16ミリ版）〔学校教育部門（小学校・幼稚園を含む、中学校、高等学校）、社会教育部門（家庭生活・市民生活）、職能教育部門、児童劇・動画部門、教養部門〕※1社の参加本数は制限なし。

2. 教育ビデオ〔学校教育部門（小学校・幼稚園を含む、中学校、高等学校）、社会教育部門（家庭生活・市民生活）職能教育部門、動画部門、教養部門〕※1社の参加本数は、最高15本までとし、各部門等（8分野）における参加本数は、それぞれ3本以内。

3. 教育DVD〔学校教育部門（小学校・幼稚園を含む、中学校、高等学校）、社会教育部門（家庭生活・市民生活）、職能教育部門、動画部門、

教養部門〕※1社の参加本数は、最高15本までとし、各部門等（8分野）における参加本数は、それぞれ3本以内。

〈参加資格（各部門共通）〉平成20年6月1日～平成21年5月31日までに完成し、一般に市販されるもの。

〈表彰（各部門共通）〉○最優秀作品賞（文部科学大臣賞、日本視聴覚教育協会会長賞）○優秀作品賞（日本視聴覚教育協会会長賞）

〈締め切り・問い合わせ先〉平成21年6月1日（月）までに、下記アドレスより、出品申込書をダウンロードの上、申し込むこと。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-19-5虎ノ門1丁目森ビル（財）日本視聴覚教育協会

TEL 03-3591-2186 FAX 03-3597-0564

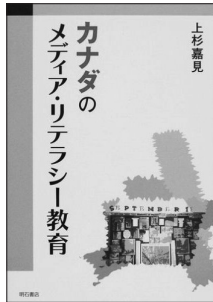
<http://www.javea.or.jp>

AV情報

■平成21年度NHK放送技術研究所の公開

NHK放送技術研究所は「テレビの進化は止ま

▶ブックレビュー



「カナダのメディア・リテラシー教育」

上杉嘉見著 (株)明石書店
2008年2月刊 A5判 268頁
6,510円 (税込)

近年、故鈴木みどり氏による活動など、わが国でメディア・リテラシーに対する関心が高まってきた。その大半は実践に対して向けられていると思われるが、それとともにその社会的背景や理論的な基盤等についても究明しようとする動きも、しだいに高まってきつつあるようである。本書は、こうした理論的な追究を支えるのに、大きな寄与をなすものと思われる。内容は著者が名古屋大学大学院に提出し、学位を授与された論文から成り立っている。その意味では、内容的に入門的というよりは、やや専門的と見るべきかもしれないが、多くの事例が実践に即して紹介さ

れており、参考となる。また、論述の中心はもとよりカナダ、中でも最も活発な動きを見せているオンタリオ州の状況についてであるが、その源流と考えられる英国、とくにイングランドについての論述にかなりのスペースを割いていることも注目してよいと思われる。カナダのメディア教育はイングランドのそれに負うところが小さくないと思われるからである。そこで、英国のメディア教育の動向について、1980年代以降を中心に考察することから論述をはじめている。1988年の教育改革では、ナショナル・カリキュラムの中にメディア教育が取り入れられるようになり、英国映画協会 (BFI) を中心に実験的なカリキュラムと評価法の策定がロンドン教育委員会での教師の組織等によって進められた。BFIが永年手がけてきた映画教育が、その活動の底にあったのはいうまでもない。しかし、映画からテレビ、ラジオ、さらにより広くメディアを扱うようになったのである。

カナダのメディア教育は、この英国イングランドの動向を受けたオンタリオの教育関係者によって実を結んだと言ってよかろう。そしてその果実は、わが国にも花開きつつある。 (高桑康雄)

らない] をテーマに、今年も研究所を公開する。
〈日時〉平成21年5月21日 (木) ~24日 (日)
10:00~18:00 (最終日は17:00終了)

〈会場〉東京都世田谷区砧1-10-11

〈内容〉○研究展示 スーパーハイビジョンシアター、3,300万画素3板式カラーカメラ、103インチ高精細プラズマディスプレイ、インターネットを介した視聴者による映像コンテンツ共同制作、デジタル放送受信相談コーナー、風の映像化システム「風カメラ」等。約37項目○講演・研究発表○ポスター展示など。

〈問い合わせ先〉NHK放送技術研究所
TEL 03-5494-1125

■「New Education Expo 2009」開催

“未来の教育を考える”教育関係者向けセミナー&展示会である標記セミナーが、New Education Expo 2009実行委員会主催により東京と大阪の2会場で開催される。「教育改革」「新学習指導要領」「教育の情報化」「小学校外国語活動」「理科教育」「学校環境づくり」「最新技術の教育利用」「大学改革」「大学経営」「大学の情報化」等をテーマに、講演、実践事例発表や教育関連展示会等。

〈日程〉平成21年6月4日 (木) ~6 (土) (東京会場)、6月17日 (水)・18日 (木) (大阪会場)

※時間は各日による。

〈会場〉東京ファッションタウン (東京都江東区有明3-1)、大阪マーチャンダイズ・マート (大阪府中央区大手前1-7-31)

〈対象〉学校、教育関係者。※入場無料。

〈内容〉基調講演には、久保公人氏 (文部科学省大臣官房審議官高等教育局担当)、本間政雄氏 (学校法人立命館副総長)、前川喜平氏 (文部科学省大臣官房審議官初等中等教育局担当)、梶田叡一氏 (国立大学法人兵庫教育大学学長)、清水康敬氏 (東京工業大学名誉教授) 他、テーマごとにセミナーを開催。詳細は<http://expo.uchida.co.jp>を参照。

〈問い合わせ先〉New Education Expo実行委員会事務局 (株)内田洋行教育総合研究所
TEL 03-5634-6397

研究会情報

■フラッシュ型教材活用セミナー

(社)日本教育工学振興会主催による標記セミナーが下記の通り行われる。

〈日時〉平成21年5月23日 (土) 13:00~16:00、7月25日 (土)、8月22日 (土) も同時間帯にて、宮崎県、沖縄県内 (場所未定) にて、開催の予定。

〈場所〉 西播地域地場産業振興センター 3F会議室 (兵庫県姫路市南駅前町123)

〈対象〉 小・中学校、教育センター、教員関係者

〈定員〉 各会場60名

〈内容〉 ○フラッシュ教材を活用しよう「模擬授業5連発!」○パネルディスカッション「フラッシュ型教材を活用した実践の可能性」○総括講演「フラッシュ型教材を活用した現実的なICT活用」堀田龍也氏(玉川大学学術研究所准教授)他。

〈申し込み〉 FAXもしくは、<http://www.japet.or.jp/>にて申し込む。

〈問い合わせ先〉 (社)日本教育工学振興会セミナー事務局 TEL 03-5575-5366

■ 日本映像学会第35回大会

日本映像学会では「映像圏における教育／視覚文化」をテーマに、標記大会を下記の通り、開催する。

〈日時〉 平成21年5月30日(土)～6月1日(月)
※時間は、各日による。

〈会場〉 名古屋大学野依記念学術交流館(名古屋市千種区不老町名古屋大学東山団地構内)

〈内容〉 ○特別講演マアリー・アン・ドーン氏(ブラウン大学近代文化&メディア学科)ジョージ・ハザード・クルッカー教授 ○シンポジウム「動画サイトは『教育の場』となるか?」○研究発表○作品発表○パネル発表○エクスカッション等。

〈会費〉 一般2,000円、学生1,000円(概要集込)。

〈申し込み〉 <http://www.jasias-chubu.org/35/participate.html>にアクセスし、申し込む。

〈問い合わせ先〉 名古屋大学国際言語文化研究科池側研究室 TEL&FAX 052-789-4348

■ 情報メディア学会第8回研究大会

「学術情報資源の活用と未来」を基調テーマに、情報メディア学会では、標記大会を開催する。

〈日時〉 平成21年6月27日(土) 10:00～18:30

〈会場〉 科学技術振興機構東京本部サイエンスプラザB1ホール(東京都千代区四番町5-3)

〈内容(予定)〉 ○基調講演「文献の計量でわかること、わからないこと」小野寺夏生氏(筑波大学) ○特別講演「Academic Web宣言—学術資源を生かすための構想とその課題、そして可能性」岡本真氏(ACADEMIC RESOURCE GUIDE) ○プロダクトレビュー ○ポスター発表ライトニングトーク

〈参加費〉 会員1,000円、非会員1,500円。
〈申し込み先〉 平成21年6月22日(月)までに、FAXまたはメールで事務局まで申し込む。

〈問い合わせ先〉 筑波大学図書館情報メディア研究科内情報メディア学会事務局

FAX 020-4623-1228 Mail office@jsims.jp

■ 日本情報科教育学会第2回全国大会

「新しい情報科教育の内容と方法」をテーマに、日本情報科教育学会では、下記の通り、全国大会を開催する。

〈日時〉 平成21年6月27日(土)・28日(日) 9:30～17:00。28日は、16:30まで。

〈場所〉 九州工業大学情報工学部(福岡県飯塚市川津680-4) ※本大会は、全国数か所に遠隔会場を設け、大会の一部を中継する予定。

〈内容〉 ○一般研究発表 ○基調講演 岡本敏雄氏(学会会長・電気通信大学大学院教授) ○招待講演「新しい情報科教育の内容と方法」(仮題) 椿泰文氏(文部科学省生涯学習政策局参事官)、「情報産業の視点から見た人材育成」(仮題) 平林純一氏(経済産業省課長補佐) ○パネルディスカッション「次期教育課程における情報科教育」永井克昇氏(文部科学省初等中等教育局視学官)他 ○企画セッション(ワークショップを含む)

〈対象〉 小・中・高等学校教諭、大学教員、学生他。

〈参加費〉 2,000円。

〈申し込み〉 http://www.s.osaka-gu.ac.jp/jaeis/zenkoku2009/n_entry.htmlにアクセスし、申し込む。

〈問い合わせ先〉 日本情報科教育学会事務局

TEL 03-5155-7576

短 信

■ 文部科学省生涯学習政策局参事官付の異動

○企画官(命)情報政策室長 萬谷宏之氏→国立教育政策研究所研究企画開発部総括研究官(後任:日本学生支援機構政策企画部総合計画課長=増子則義氏) ○参事官補佐 江崎俊光氏→三重大学財務部長(後任:生涯学習政策局社会教育課地域・学校支援推進室室長補佐=出口寿久氏) ○ネットワーク係長 佐藤泰司氏→調査企画課専門職(後任:情報政策室教育情報施策調整係主任=加藤敬氏) ○メディア係 竹本明弘氏→科学技術・学術政策局原子力安全課防災環境対策室防災第二係長(後任:内閣府原子力安全委員会事務局規制調査課=千原理氏) ○メディア係 山崎一宏氏→情報網整備担当(後任:福島大学=鈴木嵩千氏) ○情報政策室教育情報施策調整係主任 加藤敬氏

→ネットワーク係主任（後任：北海道帯広市＝野崎実氏）○教育メディア調査官 清水博人氏→参事官補佐○学習情報係 満田潤氏→学習情報係長○初等中等教育局教職員課教員研修企画官（命）初等中等教育局参事官付情報教育調整官（併）初等中等教育局参事官付情報教育調査官 中沢淳一

氏→生涯学習政策局参事官付企画官（併）生涯学習政策局参事官付情報教育調査官○初等中等教育局参事官付情報教育係長 大塚和明氏→情報教育係長○研究振興局ライフサイエンス課管理係長 山本健司氏→情報網整備担当専門職○山梨県教育委員会 永田典弘氏→情報教育係

AV MATERIAL

文部科学省選定作品

- 3月選定 〔紙〕紙しばい／〔ビ〕ビデオ／〔D〕DVD
「おむすびくん」〔紙〕8枚〈幼稚園／幼児向き、教養〉(株)童心社
- 「のはらでなわとび」**〔紙〕12枚〈幼稚園／幼児向き、教養〉(株)童心社
- 「うごくえほん チルビー vol.10 おおきくな〜れ!の巻」**〔D〕48分〈幼稚園／幼児向き、教養〉(株)モーニング
- 「うごくえほん チルビー vol.11 キミはたからもの巻」**〔D〕33分〈小学校〈低学年〉〉(株)モーニング
- 「ハチドリのはたとしづく 私にできること」**〔ビ〕19分〈小学校〈低・中学年〉、道徳・特別活動／少年、教養・情操（童話・寓話）〉(有)アニメーション画房わ組
- 「ケータイトラブル—子どもを犯罪者・被害者にさせない—」**〔D〕25分〈青年・成人、国民生活（メディア）〉東映(株)
- 「人権啓発アニメーション 夢のつづき」**〔D〕40分〈青年・成人、地域社会生活（人権）〉東映(株)
- 「あした天気になる? 発達障がいのある人たちの生活記録」**〔D〕85分〈青年・成人、教養〉ピース・クリエイト(有)

放送番組・web配信

中学生日記

- (土) 19:15~19:44 / NHK教育
- 翌週 (土) 12:30~12:59 / 再放送 NHK教育
- 中部7県は翌週(日)11:00~11:29 / 再放送 NHK教育
- ※都合により番組内容が変更となる場合があります。
- 2日「中学生日記プレーバック『ガケっぶちくらぶ』」 (平成18年5月8日放送分)

- 9日「決意のドビュッシー」
- 16日「今日という『明日』」
- 23日「Yes we 缶」
- 30日「ぶっちゃけトーク 英語上達の極意」(仮)

発見！人間力

- ※放送曜日・時間は地域によって異なります。
 (放送についての問い合わせ)
 (財)民間放送教育協会 TEL03-6406-2171
- 45回 2日「“玉こんにゃく”で自立へ再挑戦」 (山形放送)
- 46回 9日「住職は舞姫」 (四国放送)
- 47回 16日「誰にも負けない相撲愛—彼女の夢は日本—」 (中国放送)
- 48回 23日「心ひとつに！フォワードマーチ」 (長崎放送)
- 49回 30日「“学びたい”を支えて…」 (高知放送)

エル・ネット

- 各機関で行われているさまざまな取り組みが視聴できます。
- 今月の主な新着コンテンツは、下記の通り (<http://www.elnet.go.jp>)。
- *「9ch 情報モラル」チャンネル開設！*
- 情報モラル実践授業○情報モラル指導セミナー
- 情報モラル指導事例○情報モラル授業素材 等
- *今月の主な新着コンテンツ*
- 〈1ch 文部科学省から〉
- 科学的に考える 子どもの生活リズム向上全国フォーラム
- 〈4ch 公開講座・草の根eラーニング〉
- ビジネスマナー（全10回講座）
- 〈8ch コンクール等〉
- 第14回東京国際音楽コンクール〈指揮〉入賞・入選者演奏 ((財)民主音楽協会提供)